

"BIG DREAMS"with" BIG SMILE"

“自己実現 自主自立 そして夢の実現”

こうのうら

佐世保市立神浦小学校

今年度のキーワード 学校便り

『つなぐ(繋ぐ)』No.14

平成27年6月1日(月)

文責：校長 園田俊郎

学校教育目標：心やさしく 進んで学び たくましく生きる子どもの育成

今朝から教員住宅の周りでも、そして学校の周りでも美しい鳥の鳴き声が響き、爽やかな風が吹きぬけます。青葉もまぶしい6月がスタートしました。まもなく憂鬱な梅雨もやってきますが、気持ちは今日の天気のように爽やかに過ごしていきたいものですね。

いのちを見つめる強調月間 いのちを見つめる日

6月1日~6月30日
6月1日

今月は『いのちを見つめる強調月間』、そして今日、6月1日は『いのちを見つめる日』です。

今朝の全校朝会校長講話では、

「私達は、『いのち』をもらって、「私」として生まれてきたこと」、「『いのち』は、目には見えないけれど必ずある。その『いのち』は、自分自身そのものであること」、「友達など『他の人のいのち』は、その人そのものであること」「自分や友達など他の人のいのちを大切にすること、自分自身を大切にする、友達を大切にすること」と言ったことを元に話をしました。

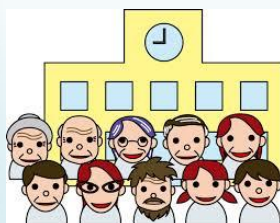
そして、病気やけがで大変な思いをしながらも、生きる証を見つけて一生懸命に生きる人を例に挙げ、「いのちがあること、生きていることを当たり前と思っていませんか？」という問いかけから、『いのち』や「生きていること」の素晴らしさや感謝の気持ちを持つことの大切さ、その『かけがえのない大切ないのち』は、いろいろな人に支えられていること、『自分自身のいのち』を大切に育ててほしい、『他の人のいのち』も同じように大切にしてほしいと伝えました。

強調月間である6月。特に今週は、地域の皆様のご協力を得ながら、様々な活動を計画しており、地域の方々ととの交流活動などを通して、人と人のふれあい、心と心の交流を深め、子ども達に自分や他の人、他のいのちあるもの全てのいのちの大切さについて考えさせ、自他のいのちを大切にすることを育てていきたいと思ひます。

学校閉校そして統合に向けて・・・

〈1〉誇りある閉校に向けて

閉校に向け、4月に『神浦小学校閉校記念事業実行委員会』を立ち上げ、先日、第2回実行委員会を開催しました。実行委員会のメンバーは保護者代表の方（PTA役員）、学校評議員の方、そして校区内区長様、学校職員です。今後、月一回程のペースで開催していきます。現在は閉校式や記念行事、記念誌、記念碑等について意見を交わし、スタートを切ったところです。神浦小学校に対する保護者の皆様、地域の皆様の思いをまとめながら、そして佐世保市教育委員会とも調整を図りながら進めていきたいと考えています。ご意見がございましたら学校または各地区区長様へご連絡ください。



〈2〉未来ある統合に向けて

閉校後の未来、宇久小学校との統合に向けては、統合後に子ども達や保護者の皆様が円滑にそして安心して学校生活を送ることが出来るようにしたいと思ひます。そのためには学校間、そしてそれぞれのPTA間での話し合いも必要です。学校間ではすでに様々な形で連携を図っているところですが、先日は両校の学校職員（校長・教頭）とPTA役員（会長・副会長等）での「PTA統合実行委員会」が開催されました。両校PTAのそれぞれの思い、考えを伝え合い、組織等を検討し、調整できればと思ひます。

大幅な調整や変更はないかもしれませんが、相互に理解し合い、交流することが第一義かと思ひています。今後もよろしくお願い致します。

